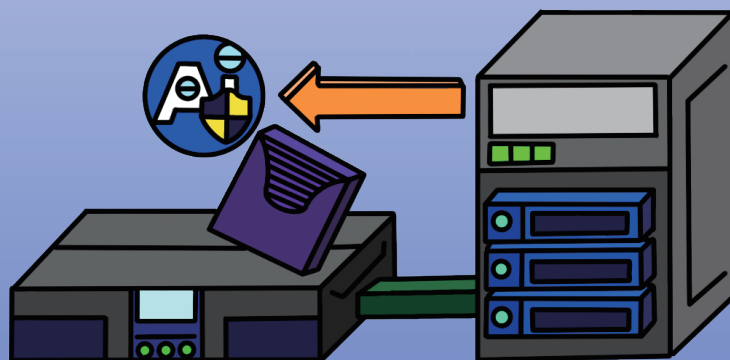


ActiveImageTM 2022

PROTECTOR

テープメディアバックアップ / 復元 クイックガイド



内容

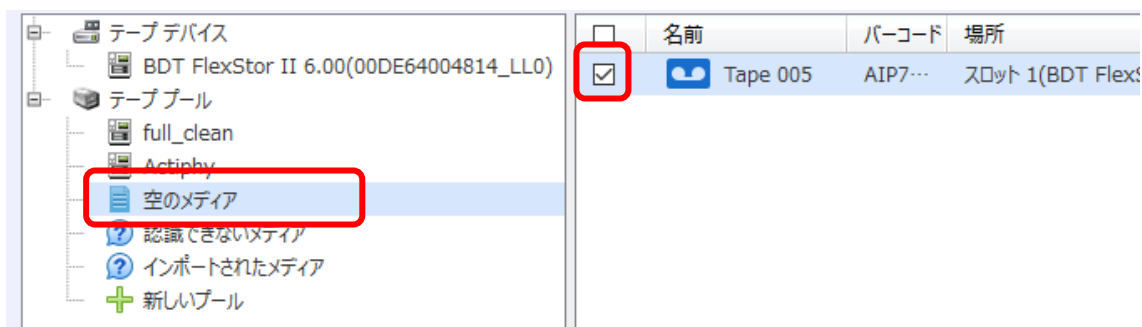
1. LTOテープメディアの設定方法.....	3
2. バックアップ時の指定方法.....	6
3. 復元時の指定方法.....	7

1. LTO テープメディアの設定方法

1. LTO テープドライブにテープメディアを挿入します。
2. ActiveImage Protector を起動しユーティリティからテープマネージャーを選択します。



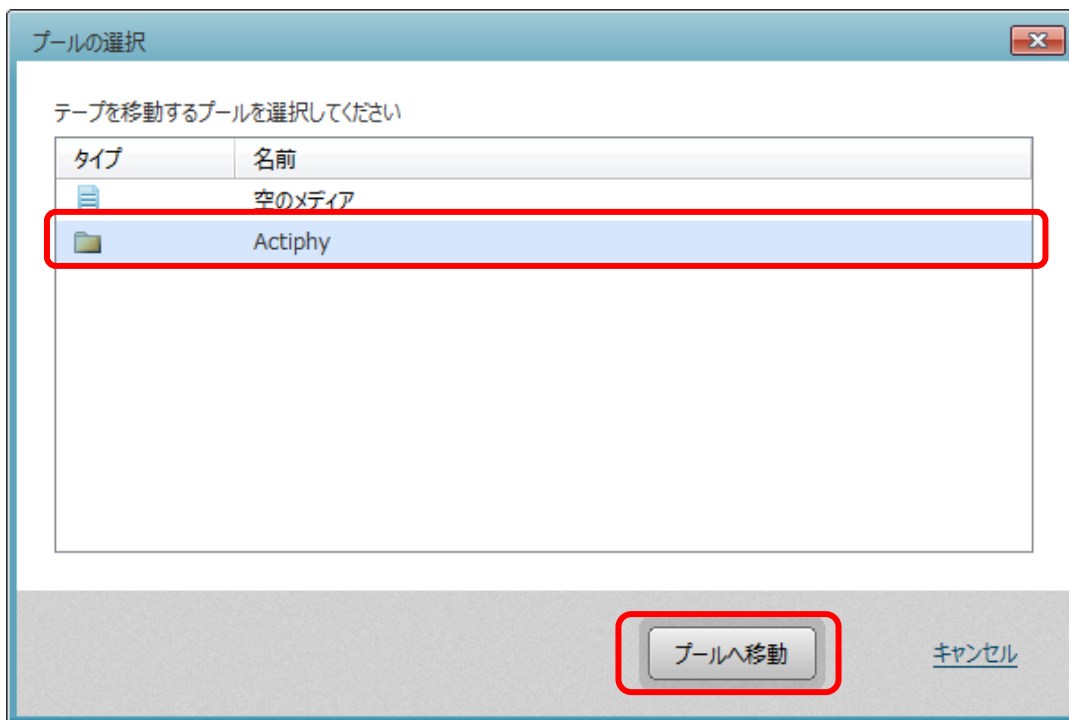
3. 「空のメディア」から挿入したテープメディアを選択します。



4. 画面右側の処理メニューから「プールへ移動」をクリックします。



5. 移動先のプールを選択し「プールへ移動」をクリックします。



※既定のプールとして「Actiphy」が用意されていますが、別途プールを作成する場合は「新しいプール」をクリックし、プール名の入力と挿入したテープメディアを選択したうえで「新規プールの作成」をクリックします。

新規プールの作成

プール名:

新しいプールに移動するテープを選択してください

☐ 空のプール

☒ Tape 005

☒ [空のメディア]から自動的にテープを割り当てる

☐ プールの容量が不足している場合は、そのプールを消去して再利用する

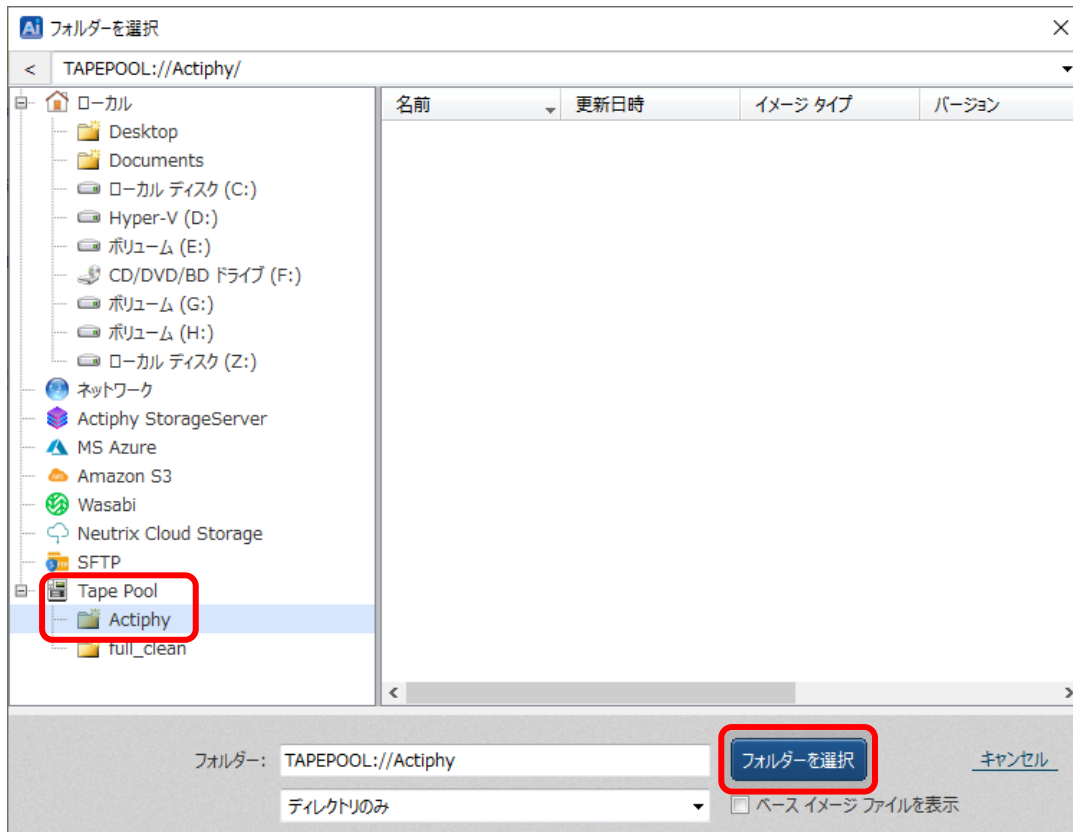
6. 移動が終了すると指定したテープメディアがプールに移動します。

テープデバイス			
<input type="checkbox"/>	名前	バーコード	場所
<input type="checkbox"/>	Tape 005	AIP7...	デバイス 1(BDT F

<ul style="list-style-type: none"> テープデバイス <ul style="list-style-type: none"> BDT FlexStor II 6.00(00DE6400481... テーププール <ul style="list-style-type: none"> full_clean Actiphy 空のメディア 認識できないメディア インポートされたメディア 新しいプール 	
---	--

2. バックアップ時の指定方法

1. バックアップの保存先として使用する際は「Tape Pool」から対象のプールを選択したうえでタクスを作成してください。



3. 復元時の指定方法

1. 復元の際は「Tape Pool」から対象のプールを選択し、ホストと復元ポイントを指定してください。

1 復元ポイントの選択

2 復元設定

3 確認

バックアップ保存先

バックアップ先

TAPEPOOL://Actiphy

ローカル
Desktop
Documents
ローカル ディスク (C:)
Hyper-V (D:)
ボリューム (E:)
CD/DVD/BD ドライブ (F:)
ボリューム (G:)
ボリューム (H:)
ローカル ディスク (Z:)
ネットワーク
Actiphy StorageServer
MS Azure
Amazon S3
Wasabi
Neutrix Cloud Storage
SFTP
Tape Pool
Actiphy
full_clean

ホスト

sales-t350

復元ポイント

2023/09/19 13:28:15

バックアップ情報

イメージ ファイル: Actiphy¥3B67A6EC-898A-4001-B296-6FD628A091E2_6430365F30303030315F69303030302D303030303030.aiv;
システム: Microsoft Windows Server 2022 Standard Edition (build 20348), 64-bit(64); 復元元: ディスク0, ボリューム(:); 重複排除設定: いいえ; 圧縮設定: 高速; パスワード: いいえ.コメント: .

次へ >

キャンセル